

2017年7月26日

各 位

オリックス自動車株式会社

『オリックス自動車入札会 沖縄サテライト会場』を新規開設 ～中古車流通拠点を新設し、沖縄県からの海外への直輸出を推進～

オリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：亀井 克信）は、8月1日より、中古車の入札会場として「オリックス自動車入札会 沖縄サテライト会場」（沖縄県豊見城市）を新規開設しますのでお知らせします。

「沖縄県 平成 29 年度 国際物流関連ビジネスモデル創出事業（中古車輸出ビジネスモデル実証事業）」^{※1}の参加企業として、沖縄県内で展開するレンタカーおよびリース事業で活用した車両を沖縄県から直接海外へ輸出できる環境を構築し、中古車輸出ハブ拠点化を目指します。また、県内における新しい仕入ルートとして、中古車事業者さまの利便性向上を図ります。県内初となる大型入札会場を開設することで、沖縄県の経済効率化と産業振興に寄与できればと考えております。

これまで、沖縄県内のレンタルアップやリースアップ車両を入札会に出品するには、主に本土まで船で輸送し「福岡オートプラザ」で売却することが多く、それ以外は外部の入札会場やオークション会場へ出品していました。オリックス自動車の各事業における車両管理台数増加に伴い出品台数が増えたことや、本土への輸送負担の軽減を図るため、県内で完結する新たな流通網により効率的な運営を図ります。輸出事業者さまのご要望にタイムリーにお応えするために、会場は港の近くに立地し、中古車輸出主要国であるスリランカ、バングラデシュ、パキスタン等を含む多くの仕向地への輸出ルートを確立します。

会場は、「現車確認」および「現地に設置された端末機による応札」が可能です。また、沖縄県内の入札会会員企業さまや会員自動車ディーラーさまからの中古車両出品も募り、県全体での中古車事業活性化の促進を図ります。

自動車リース業界最大手のオリックス自動車の国内車両管理台数は128万4千台^{※2}にのぼり、その中でもリース車両の大半は常に万全な点検・整備を行っているメンテナンスリース契約となっています。また、レンタカー車両台数は業界2位の6万3千台^{※2}であり、多くの高年式車両を中古車として出品可能です。そのほか、トラックリース・レンタカーも併せ持つ強みも生かしたオリックス入札会は、高品質車両から中年式過走行車両までを多種多様に取り揃えていることから、高い評価をいただいています。

今後も、入札会会員さまにとってより魅力ある入札会を開催していくとともに、本事業を通じ、沖縄県の経済活性化に貢献してまいります。

※1 別添をご参照ください。

※2 2017年3月末時点

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

オリックス株式会社 グループ広報部 矢崎・橋本 TEL：03-3435-3167

《補足資料》

■ オリックス自動車入札会 沖縄サテライト会場

住所：沖縄県豊見城市渡橋名 289-39（オリックス自動車渡橋名ヤード内）

面積：会場（土地）1,302.75 坪、事務所（グランドゥール渡橋名）17.17 坪

運営：入札会方式

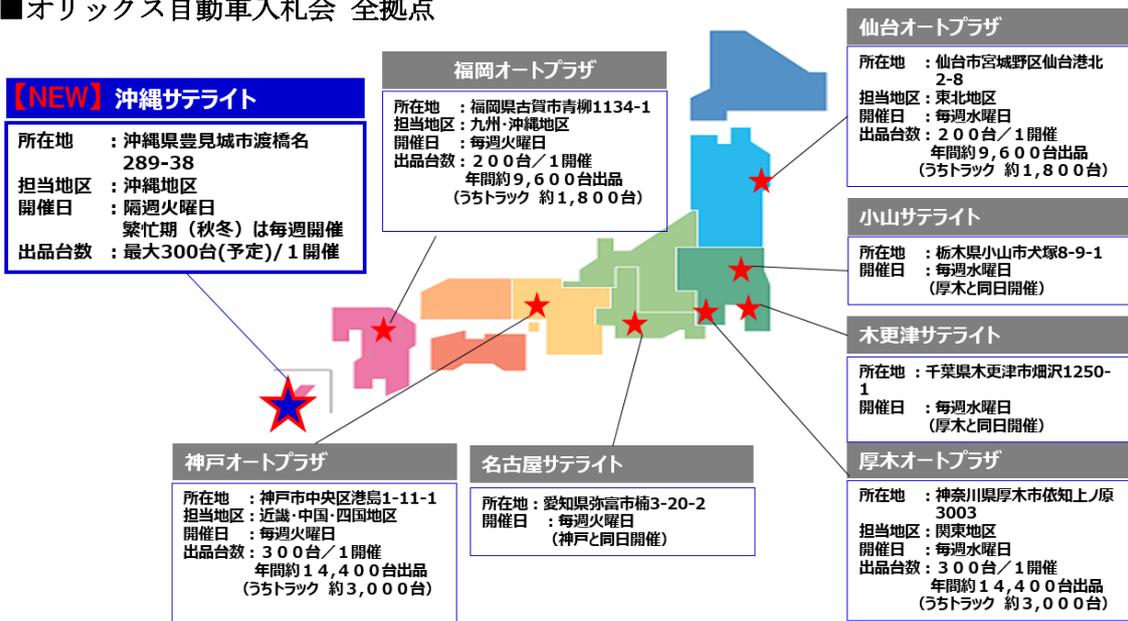
台数：最大 300 台前後 / 1 開催

開催：隔週火曜日。ただし 2017 年 10 月までは以下のとおり変則開催となります。

8 月：1 日(火)・8 日(火)・29 日(火)、9 月：12 日(火)・26 日(火)、10 月 3 日(火)、
以降は毎週火曜日開催。



■ オリックス自動車入札会 全拠点



■ オリックス自動車入札会参加資格

1. 所轄公安委員会発行の「中古自動車取扱古物許可証」をお持ちであること。
2. 事業実態を有する事業者で、弊社指定の書類を全て提出できること。
3. オリックス入札会「入札会会員規定」に同意いただけること。
4. 入会申込後、弊社審査を通過された方。

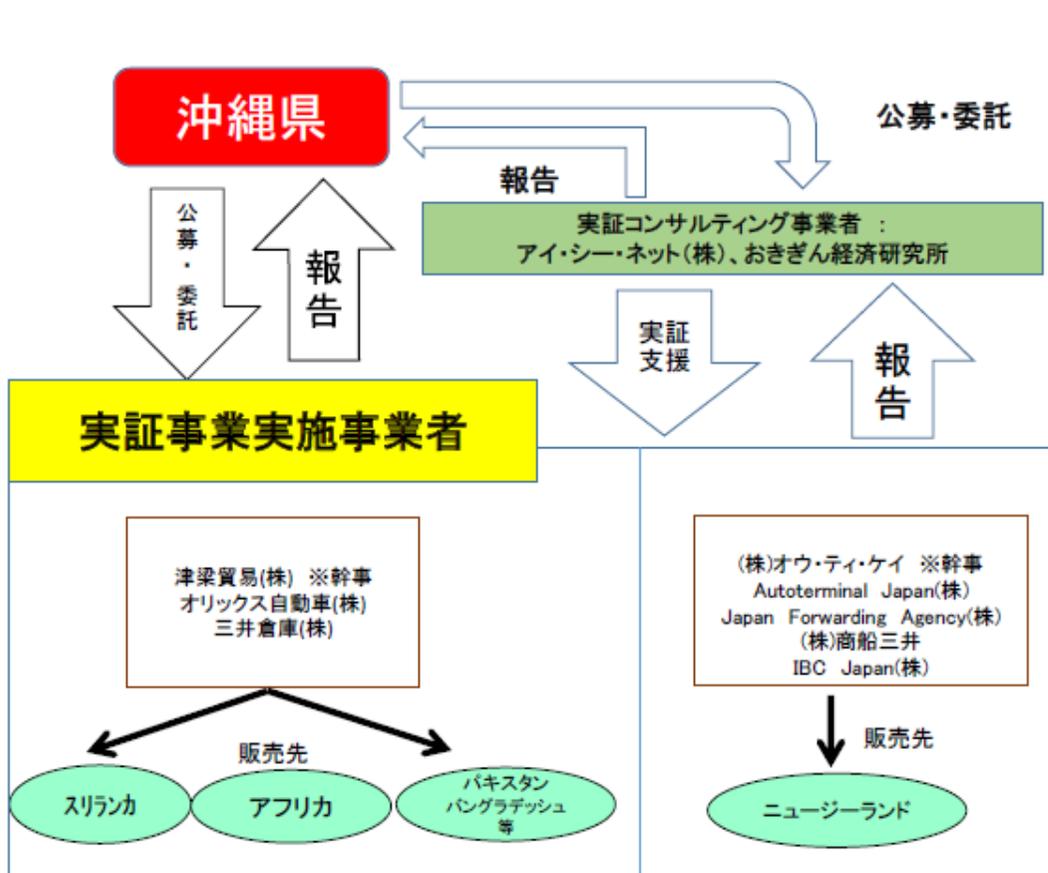
■ 本件事業に関する詳細情報/お問い合わせ先

オリックス自動車入札会ホームページ <http://www.orixcar.jp/auto-plaza/>
 入札会事務局 TEL：042-528-5125 e-mail：tender_site@orix.jp

以上

事業目的

県内の既存資源である中古車が継続的に海外へ輸出展開するための仕組み構築を目指し、実証事業を委託し実施する。実証内容としては、将来的に沖縄から本格的な中古車輸出の可能性が高い国へ輸出し、物流、輸出前検査、通関、貿易手続き等の現状や料金、県内中古車の調達状況、海外パイヤーの反応を明らかにし、課題の抽出、解決を目指す。



(背景) ~本県のポテンシャルとして~

■観光資産であるレンタカー・レンタアップ車の活用

本県には年間約880万人の観光客が訪れ、レンタカーを活用しており、台数は約3万台余(平成28年3月現在)あり、これは全国上位となっている。これらの既存資源は毎年1万台がリタイヤ(レンタアップ)しているとも言われている。

■自動車社会を反映した産業構想である

本県は、鉄軌道が無く、県民の多くが交通手段として自家用車を活用する車社会であり、それに付随する自動車整備関連産業が発達し、技術も高い状況である。

■本県のポテンシャル

これらの状況を踏まえると、中古車を中心とした輸出販売、検査、整備及び部品製造などの産業拠点となる可能性を秘めているが、現状では、産業化の機会を喪失している。ゆえに、沖縄県として、既存の県内資源である中古車を活用した新たな物流モデル構築と将来の中古車等輸出拠点形成による産業化へ向けた可能性及び県経済への波及効果を調査・検討する必要がある。

【平成28年度実績】

沖縄の中古車を382台、7カ国へ輸出した。内訳は以下の通り。

- ①実施者:津梁貿易(株)、オリックス(株)、三井倉庫(株)
輸出先:スリランカ(21台)、バルバドス(17台)、パキスタン(3台)、モーリシャス(3台)、コンテナ船を活用。
- ②実施者:ECLエージェンシー(株)
輸出先:スリランカ(323台)、自動車専用船を活用。
- ③実施者:(株)Pride
輸出先:ミャンマー(6台)、カメルーン(6台)、ニュージーランド(3台)、コンテナ船を活用。

沖縄県商工労働部アジア経済戦略課
担当:本永、瑞慶覧、大塚
TEL:098-866-2340